

平成 28 年 4 月 28 日

お取引先様 各位

ケイビーシー開発株式会社

## 弊社の視覚障がい者支援活動のご報告

### 機密文書処理事業の収益でFMラジオを寄贈

近年、視覚に障がいのある人でも映画を楽しめる「バリアフリー映画」の上映会が次第に増えてきました。KBC開発では昨年度「機密文書リサイクル事業」の収益の一部を視覚障がい者の支援に役立ててもらおう活動を行うことを決めました。初年度はバリアフリー映画の上映活動を行っているボランティア団体に携帯FMラジオ10台を寄付することを決め、このほどその贈呈式を行いました。4月2日に行われた贈呈式にはバリアフリー映画の副音声を作成し、上映活動を行っている福岡市のボランティア団体「バリアフリーシアターエイムing（エイミング）」の代表川崎寛子さんとメンバーおよそ10名が出席しました。このFMラジオは、視覚障がい者がバリアフリー映画を観賞する際、映画館で副音声を聞き取ることに使用されます。

FMラジオを受け取った川崎さんは「大変ありがたい。大事に使わせて頂きます。」とおっしゃっていました。バリアフリーシアターエイムing（エイミング）はバリアフリー映画の上映活動に1998年から取り組んでおられる団体で、弊社が主管して行っている「KBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」のバリアフリー上映会の運営にも参画して頂いています。

企業の社会的責任（CSR）が叫ばれている中、「機密文書のリサイクル事業」は、環境保全のための直接的な社会貢献活動、またボランティア団体を通しての視覚障がい者支援は間接的な社会貢献活動と言えます。

弊社の「機密文書リサイクル事業」へより一層のご理解を賜り、今後とも更なるご協力を謹んでお願い申し上げます。

※ エイムingの2015年度の活動報告書を添付しております。是非、御覧下さい。



【贈呈式】平成28年4月2日（土）14：00～  
福岡市中央区 ふくふくプラザにて

（写真左）ボランティア団体エイムing  
代表 川崎 寛子 様

（写真右）ケイビーシー開発株式会社  
代表取締役社長 高野 伸久

## 「目の不自由な方のためのバリアフリー映画上映会」を開催

2015年12月23日（水・祝）、昨年引き続き2回目となる「目の不自由な方のためのバリアフリー映画上映会」、をKBCシネマ1・2（中央区那の津）にて開催しました。当日はあいにくの雨天でしたが、視覚障がい者41名、介助者24名、健常者19名、計84名が来場されました。

この上映会は、「KBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で皆様からいただいた募金「通りゃんせ基金」の一部を運営費用に充て、目の不自由な方も映画を楽しめるようにと2014年度より開催しており、当社も運営に加わっています。

今回は、本上映会に向けて音声ガイドの制作をボランティア団体「バリアフリーシアター エイムing（エイミング）」様に委託しました。制作期間はおよそ3ヶ月。制作した音声ガイドは今後全国のバリアフリー上映会で使用可能となります。

今回の上映映画は、「ぼくたちの家族（2014年日本映画117分）」。ある日、平凡な家族に訪れた“事件”。それはやがて“普通の家族”に潜んでいた秘密、本音を表面化させていきます。苦難に立ち向かって行く家族の姿を描いたリアリティ溢れる作品です。映画を見た視覚障がい者の方々からは、「音声ガイドが非常にわかりやすく良く出来ていた。」とお褒めの言葉をいただきました。

次回は、2016年12月23日（金・祝）に開催予定です。是非、会場に足をお運び下さい。

- =====
- <主 催> 九州朝日放送株式会社  
福岡市ボランティア連絡協議会  
視覚障害者部門
- <特別協賛> 株式会社ウエスト
- <主 管> KBC 開発
- <後 援> 福岡県、福岡市、福岡市教育委員会  
福岡市社会福祉協議会
- =====



受付にてFMラジオを貸し出し。健常者も体験可。



オープニングセレモニー。  
KBC奥田アナによるエイムing代表川崎寛子さんインタビュー。



上映映画『ぼくたちの家族』